| | 学科名 | 学年 | 教科 | 科目 | 単位数 | 教科書 | 関心・意欲・態度 | 思考・判断・表現 | 技能 | 知識・理解 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 普通科 | 3 | 地理・歴史 | 日本史B（文系） | 4 | 詳説日本史<br>（山川出版社） | | | | | |
| | 科目の目標 | わが国の、近世から近代へ発展の過程と、そこで活躍した人物やその理想を学ぶことで、日本人としての誇りと自覚を持たせる。<br>日本の文化について、文学作品、思想や美術工芸品、建築などを学び、日本人特有のものの見方考え方について理解を深める。 | | | | | | | | | |
| | 評価の観点 | 関心・意欲・態度<br>歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。 | 思考・判断・表現<br>歴史的・地理的事象から課題を見いだし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界史的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 | 技能<br>歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 | 知識・理解<br>我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。 | | | | | | |
| 月・考査等 | 単元名 | 項目名 | 学習到達目標 | | 補助教材 | 評価方法 | | | | | |
| 4 | 幕藩体制の動揺 | 1．幕政の改革 | ・農村を基盤とする幕藩体制が、商品経済の発展に伴う農民層の分解などの構造的変化に対応すべく一連の改革を行ったことを考察する。 | | 図説　日本史通覧（帝国書院） | 生徒観察<br>発表 | | ○ | ○ | ○ | |
| | | 2．宝暦・天明期の文化 | ・、富を蓄えた百姓や町人層が文化の担い手となることによって,洋学や国学など新たな学問・思想の発展につながっていったことを考察する。 | | 必携　日本史用語（実教出版） | | ○ | | | ○ | |
| | | 3．幕府の衰退と近代への道 | ・幕藩体制が、社会経済の大きな変化によって動揺していく過程を、財政の窮乏や百姓一揆・打ちこわし・幕府の外交政策に対する批判と関連付けて考察する。 | | | | | ○ | ○ | | |
| 5 | | 4．化政文化 | ・寺子屋など庶民教育機関の普及が、出版文化の発達をもたらし、成熟した町人文化につながっていったことを考察する。 | | | 生徒観察<br>確認テスト | ○ | ○ | | ○ | |
| | 近代国家の成立 | 1．開国と幕末の動乱 | ・欧米諸国のアジア進出という国際環境の中で、近代国家へと変化を遂げたことを多面的・多角的に考察する。 | | | 生徒観察<br>確認テスト | | ○ | ○ | ○ | |
| 中間考査 | | | | | | | | | | | |
| 6 | | 2．明治維新と富国強兵 | ・国際社会の枠組みに組み込まれたわが国が、近代国家の基盤を形成していった過程と、明治維新の意義について考察する。 | | | 生徒観察<br>発表 | | ○ | ○ | | |
| | | 3．立憲国家の成立と日清戦争 | ・新政府によって行われた諸改革により、近代国家を形成していったことと、日清戦争に至る過程とその結果について関連付けて考察する。 | | | ノート | ○ | ○ | | ○ | |
| | | 4．日露戦争と国際関係 | ・日露戦争に至る過程とその結果を、国際関係と関連させながら考察する。 | | | 生徒観察<br>確認テスト | | ○ | ○ | ○ | |
| | | 5．近代産業の発展 | ・殖産興業政策を基礎に産業基盤を整備し、近代工業が成立したことや資本主義が確立したことを社会の変化と関連付けて考察する。 | | | 生徒観察<br>確認テスト | ○ | ○ | | ○ | |
| | | 6．近代文化の発達 | ・伝統文化の上に欧米文化を導入して、近代文化が形成されたことを考察する。 | | | 生徒観察<br>確認テスト | | ○ | ○ | ○ | |
| 期末考査<br>7 | | | | | | | | | | | |
| | 二つの世界大戦とアジア | 1．第一次世界大戦と日本 | ・民族主義の台頭や社会主義国の成立など、第一次世界大戦前後の国際社会が大きく変容し、国内政治にもその影響が、強くみられるようになったことを考察する。 | | | 生徒観察<br>ノート | ○ | | ○ | ○ | |
| 8 | | | | | | | | | | | |
| 課題テ | | | | | | | | | | | |
| 9 | | 2．ワシントン体制 | ・大戦の戦禍や国際情勢の変化によって、国際協調体制が構築されたことで、日本の立場や対外政策の変化について考察する。 | | | 生徒観察<br>発表 | | ○ | ○ | ○ | |
| | | 3．市民生活の変容と大衆文化 | ・資本主義経済の発展により、産業構造の変化や都市人口や労働者階級の増大による社会構造の変化が、市民の生活や文化に大きな変化もを垂らしたことを考察する。 | | | ノート | ○ | ○ | | | |
| | | 4．恐慌の時代 | ・世界恐慌による保護貿易の広がりによって列強間に経済的対立が生じ、全体主義の台頭によって国際関係に変化が生じたことを考察する。 | | | 生徒観察<br>発表 | | ○ | ○ | | |
| | | 5．軍部の台頭 | ・経済的困窮による、政党政治の終焉、軍部の台頭が対外政策の転換、全体主義的な体制の構築につながったことを考察する。 | | | 生徒観察<br>発表 | | ○ | ○ | | |
| 10 | 占領下の日本 | 6．第二次世界大戦<br>1．占領と改革<br>2．冷戦の開始と講和 | ・米英等との外交関係の行き詰まりが戦争へとつながったこと、また総力戦体制のもと、戦争による多くの参加がもたらされたことを考察する。<br>・民主化を進める戦後の諸改革と憲法制定、平和条約の締結と日本の独立への過程を対日占領政策の変化と関連付けて考察する。 | | | 生徒観察<br>発表<br>ノート | ○ | ○<br>○ | <br>○ | ○<br>○ | |
| 中間考査 | | | | | | | | | | | |
| | 高度経済成長の時代 | 1．55年体制 | ・冷戦によって、国内でも保革対立の激化がみられた日本が、やがて西側の一員として国際社会における地位を向上させていった過程を考察する。 | | | 生徒観察<br>発表 | | ○ | ○ | | |
| | | 2．経済復興から高度成長へ | ・戦後の窮乏・荒廃の中での生産再開や諸政策、朝鮮戦争を背景とした復興の過程を対日占領政策と関連付けて考察する。 | | | ノート | ○ | ○ | | ○ | |
| 11 | 激動する世界と日本 | 1．経済大国への道 | ・70年代初頭の国際経済の変化や石油危機を経た我が国が、やがて世界有数の経済大国となった過程を、国民生活と関連付けて考察する。 | | | 生徒観察<br>発表<br>ノート | | ○ | ○ | ○ | |
| | | 2．冷戦の終結と日本社会の変容 | ・冷戦終結による国際社会の変化の中で、先進国としての国際的地位の確立、国民生活の充実や多様化、国際交流の活発化などをとおして、我が国の国際的役割を考察する。 | | | | ○ | ○ | | | |
| 期末考査<br>12 | | | | | | | | | | | |
| | まとめと復習 | | ・各時代の様々な事柄について疑問に思ったことを、これまでの学習内容をふまえながら調査し、レポートにまとめる。 | | | 生徒観察<br>ノート | ○ | ○ | | ○ | |
| 1 | まとめと復習 | | ・各時代の様々な事柄について疑問に思ったことを、これまでの学習内容をふまえながら調査し、レポートにまとめる。 | | | 生徒観察<br>ノート | ○ | ○ | | ○ | |
| 共通テスト | | | | | | | | | | | |
| | まとめと復習 | | ・各時代の様々な事柄について疑問に思ったことを、これまでの学習内容をふまえながら調査し、レポートにまとめる。 | | | 生徒観察<br>ノート | ○ | ○ | | ○ | |
| 学年末考査 | | | | | | | | | | | |

| | 学科名 | 学年 | 教科 | 科目 | 単位数 | 教科書 | 関心・意欲・態度 | 思考・判断・表現 | 技能 | 知識・理解 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 普通科 | 3 | 地理・歴史 | 日本史B（理系） | 2 | 高校日本史<br>（山川出版社） | | | | | |
| | 科目の目標 | わが国の、近世から近代へ発展の過程と、そこで活躍した人物やその理想を学ぶことで、日本人としての誇りと自覚を持たせる。<br>日本の文化について、文学作品、思想や美術工芸品、建築などを学び、日本人特有のものの見方考え方について理解を深める。 | | | | | | | | | |
| | 評価の観点 | 関心・意欲・態度<br>歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。 | 思考・判断・表現<br>歴史的・地理的事象から課題を見いだし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界史的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 | 技能<br>歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 | 知識・理解<br>我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。 | | | | | | |
| 月・考査等 | 単元名 | 項目名 | 学習到達目標 | | 補助教材 | 評価方法 | | | | | |
| 4 | 幕藩体制の動揺 | 1. 幕政の改革<br>2. 宝暦・天明期の文化 | ・農村を基盤とする幕藩体制が、商品経済の発展に伴う農民層の分解などの構造的変化に対応すべく一連の改革を行ったことを考察する。<br>・、富を蓄えた百姓や町人層が文化の担い手となることによって,洋学や国学など新たな学問・思想の発展につながっていったことを考察する。 | | 図説　日本史通覧（帝国書院）<br>必携　日本史用語（実教出版） | 生徒観察<br>発表 | ○ | ○ | ○ | ○<br>○ | |
| 5 | | 3. 幕府の衰退と近代への道<br>4. 化政文化 | ・幕藩体制が、社会経済の大きな変化によって動揺していく過程を、財政の窮乏や百姓一揆・打ちこわし・幕府の外交政策に対する批判と関連付けて考察する。<br>・寺子屋など庶民教育機関の普及が、出版文化の発達をもたらし、成熟した町人文化につながっていったことを考察する。 | | | 生徒観察<br>確認テスト | ○ | ○<br>○ | ○ | <br>○ | |
| 中間考査 | | | | | | | | | | | |
| | | 2. 明治維新と富国強兵<br>3. 立憲国家の成立と日清戦争 | ・国際社会の枠組みに組み込まれたわが国が、近代国家の基盤を形成していった過程と、明治維新の意義について考察する。<br>・新政府によって行われた諸改革により、近代国家を形成していったことと、日清戦争に至る過程とその結果について関連付けて考察する。 | | | 生徒観察<br>発表<br>ノート | <br>○ | ○<br>○ | ○ | <br>○ | |
| 6 | | 4. 日露戦争と国際関係 | ・日露戦争に至る過程とその結果を、国際関係と関連させながら考察する。 | | | 生徒観察<br>確認テスト | | ○ | ○ | ○ | |
| 期末考査 | | | | | | | | | | | |
| 7 | | 5. 近代産業の発展 | ・殖産興業政策を基礎に産業基盤を整備し、近代工業が成立したことや資本主義が確立したことを社会の変化と関連付けて考察する。 | | | 生徒観察<br>確認テスト | ○ | ○ | | ○ | |
| 8 | | | | | | | | | | | |
| 課題テ | | | | | | | | | | | |
| 9 | 二つの世界大戦とアジア | 6. 近代文化の発達<br>1. 第一次世界大戦と日本<br>2. ワシントン体制<br>3. 市民生活の変容と大衆文化 | ・伝統文化の土台の上に欧米文化を導入して、近代文化が形成されたことを考察する。<br>民族主義の台頭や社会主義国の成立など、第一次世界大戦前後の国際社会が大きく変容し、国内政治にもその影響が、強くみられるようになったことを考察する。<br>・大戦の戦禍や国際情勢の変化によって、国際協調体制が構築されたことで、日本の立場や対外政策の変化について考察する。<br>・資本主義経済の発展により、産業構造の変化や都市人口や労働者階級の増大による社会構造の変化が、市民の生活や文化に大きな変化もを垂らしたことを考察する。 | | | 生徒観察<br>確認テスト<br>生徒観察<br>ノート<br>生徒観察<br>発表<br>ノート | <br>○<br><br>○ | ○<br><br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br> | ○<br>○<br>○<br> | |
| 10 | | 4. 恐慌の時代<br>5. 軍部の台頭<br>6. 第二次世界大戦 | ・世界恐慌による保護貿易の広がりによって列強間に経済的対立が生じ、全体主義の台頭によって国際関係に変化が生じたことを考察する。<br>・経済的困窮による、政党政治の終焉、軍部の台頭が対外政策の転換、全体主義的な体制の構築につながったことを考察する。<br>・米英等との外交関係の行き詰まりが戦争へとつながったこと、また総力戦体制のもと、戦争による多くの参加がもたらされたことを考察する。 | | | 生徒観察<br>確認テスト<br>生徒観察<br>確認テスト<br>生徒観察<br>確認テスト | <br><br>○ | ○<br>○<br>○ | ○<br>○<br> | <br><br>○ | |
| 中間考査 | | | | | | | | | | | |
| 11 | 占領下の日本<br>高度経済成長の時代 | 1. 占領と改革<br>2. 冷戦の開始と講和<br>1. 55年体制<br>2. 経済復興から高度成長へ | ・民主化を進める戦後の諸改革と憲法制定、平和条約の締結と日本の独立への過程を対日占領政策の変化と関連付けて考察する。<br>・冷戦によって、国内でも保革対立の激化がみられた日本が、やがて西側の一員として国際社会における地位を向上させていった過程を考察する。<br>・戦後の窮乏・荒廃の中での生産再開や諸政策、朝鮮戦争を背景とした復興の過程を対日占領政策と関連付けて考察する。 | | | 生徒観察<br>発表<br>ノート<br>生徒観察<br>発表<br>ノート | <br><br>○ | ○<br>○<br>○ | ○<br>○ | ○<br><br>○ | |
| 期末考査 | | | | | | | | | | | |
| 12 | 激動する世界と日本 | 1. 経済大国への道<br>2. 冷戦の終結と日本社会の変容 | ・70年代初頭の国際経済の変化や石油危機を経た我が国が、やがて世界有数の経済大国となった過程を、国民生活と関連付けて考察する。<br>・冷戦終結による国際社会の変化の中で、先進国としての国際的地位の確立、国民生活の充実や多様化、国際交流の活発化などをとおして、我が国の国際的役割を考察する。 | | | 生徒観察<br>確認テスト<br>生徒観察<br>確認テスト | <br>○ | ○<br>○ | ○ | ○ | |
| 1 | まとめと復習 | | ・各時代の様々な事柄について疑問に思ったことを、これまでの学習内容をふまえながら調査し、レポートにまとめる。 | | | 生徒観察<br>ノート | ○ | ○ | | ○ | |
| 共通テスト | | | | | | | | | | | |
| | まとめと復習 | | ・各時代の様々な事柄について疑問に思ったことを、これまでの学習内容をふまえながら調査し、レポートにまとめる。 | | | 生徒観察<br>ノート | ○ | ○ | | ○ | |
| 学年末考査 | | | | | | | | | | | |